



16年6月期決算説明会



株式会社 オーネックス

JASDAQ
Listed Company 5987

平成16年8月30日

目次

1. オーネックスグループ
2. 16年6月期連結業績
3. 連結貸借対照表
4. セグメント別業績推移
5. 売上高 / 営業利益率推移
6. 熱処理加工業種別シェア
7. 熱処理加工種別売上高シェア
8. 17年6月期業績予想
9. 生産性向上のポイント
10. 熱処理業界の展望
11. オーネックスの対応
12. 環境事業

オーネックスグループ

【熱処理加工事業】

(株)オーネックス

(株)オーネックス山口

*H16.1.1 付けで両社が合併

【運送事業】

(株)オーネックスライン

【情報処理事業】

(株)オーネックスエンジニアリング

16年6月期決算のポイント

ポイント

- 1. 2期連続の増収**
排ガス規制強化によるトラック部品の増産、中国を始めとした輸出用建設機械、工作機械関連部品の熱処理受注が好調
- 2. 3期連続の増益**
熱処理生産性の向上及び原価低減努力が奏効し、営業利益率が大幅に改善
- 3. 役員退職慰労引当金の計上**
最近の会計慣行を踏まえ、役員退職慰労引当金を計上

16年6月期連結業績

(百万円)

	15年6月期	16年6月期	増 減
売 上 高	4,600	5,287	+687 (+14.9)
売上総利益	1,323	1,711	+ 388 (+29.3)
営 業 利 益	247	550	+303 (+122.6%)
営業利益率	5.4%	10.4%	+5.0%
経 常 利 益	166	536	+370 (+221.7%)
当期純利益	116	272	+156 (+134.6%)

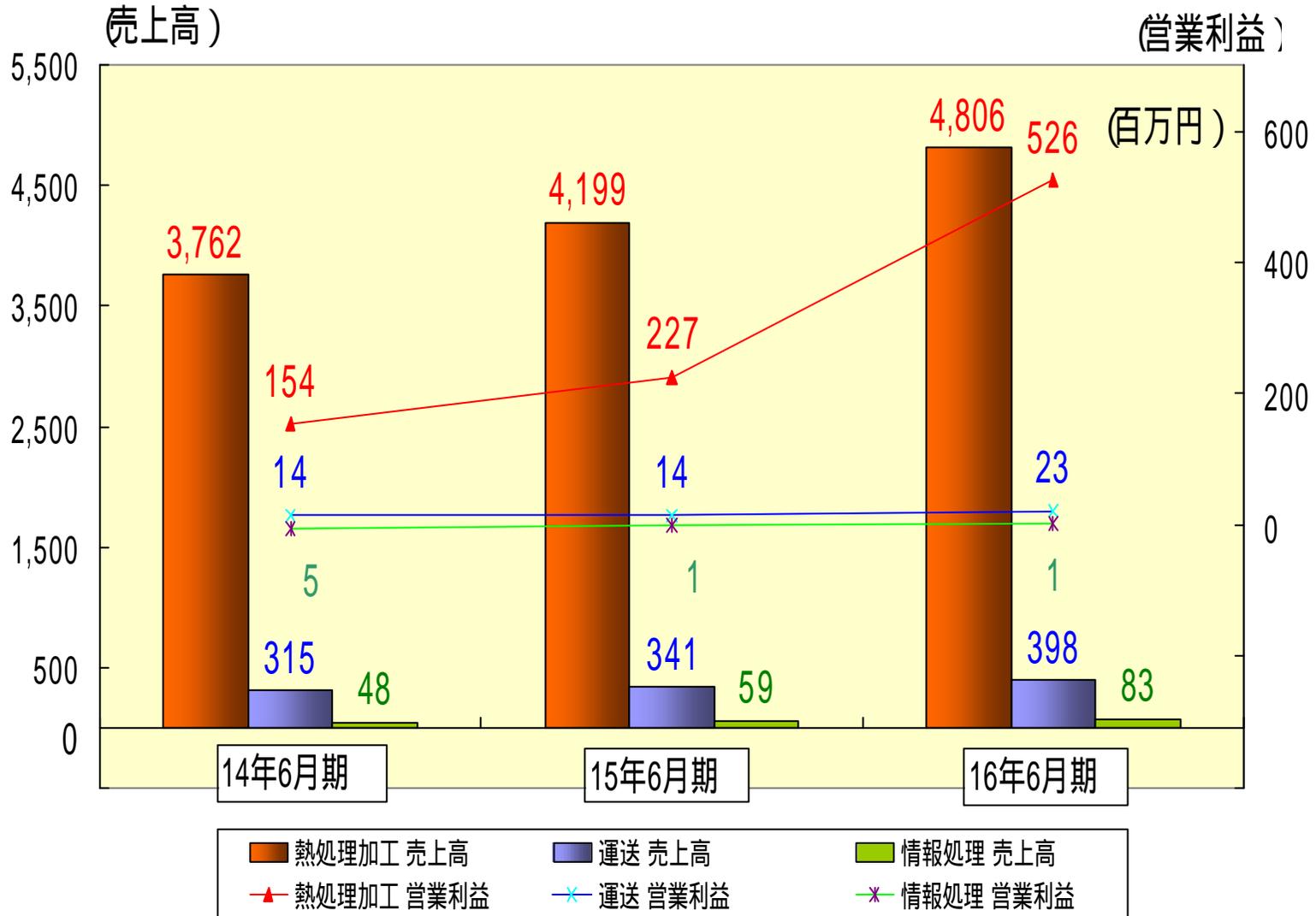


連結貸借対照表

(百万円)

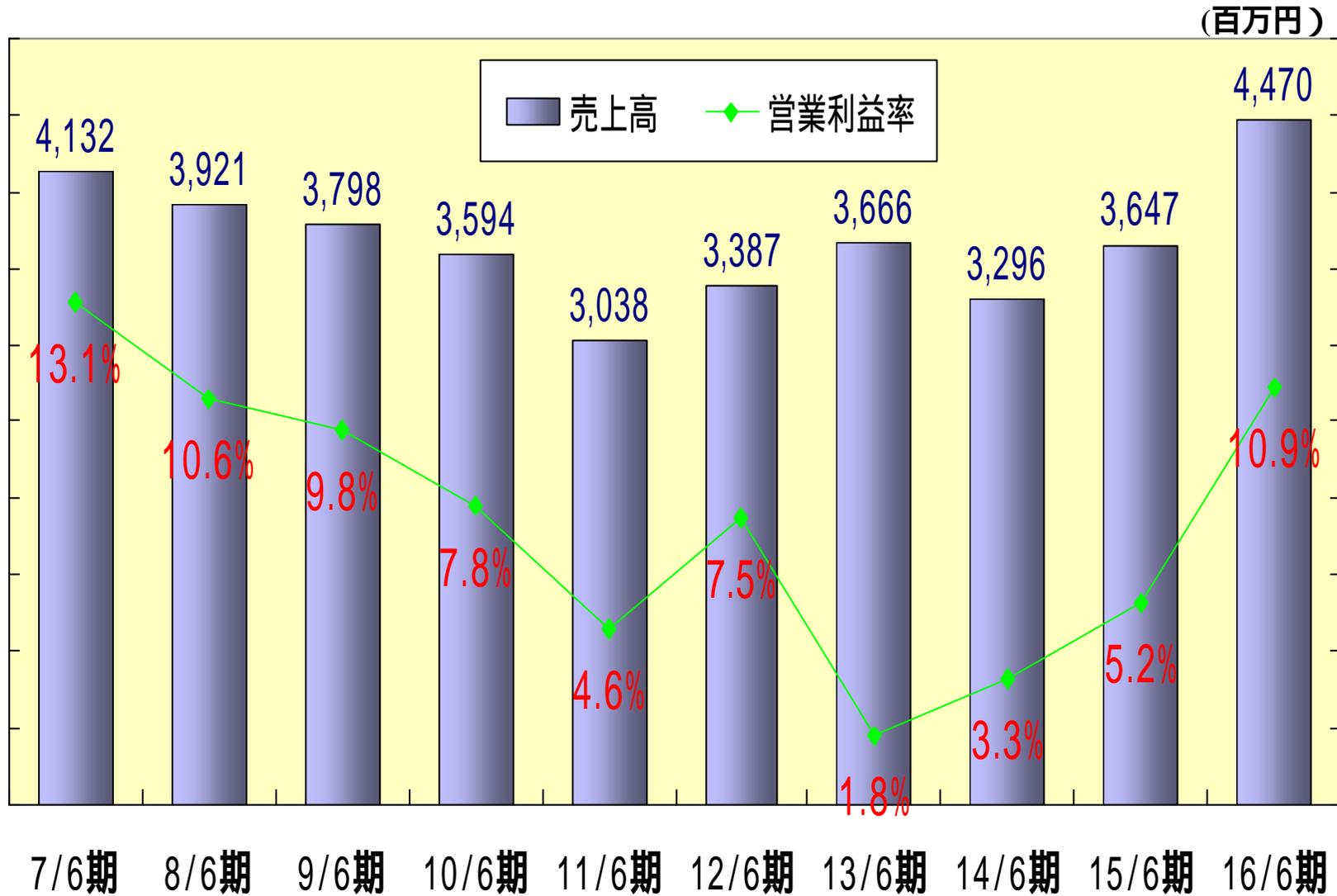
資 産				負 債/資 本			
	15/6	16/6	増 減		15/6	16/6	増 減
流動資産	2,862	3,390	+528	流動負債	2,373	2,704	+331
固定資産	4,328	4,341	+13	固定負債	2,977	2,896	81
				資 本	1,840	2,131	+291
合 計	7,190	7,731	+541	合 計	7,190	7,731	+541

セグメント別業績推移



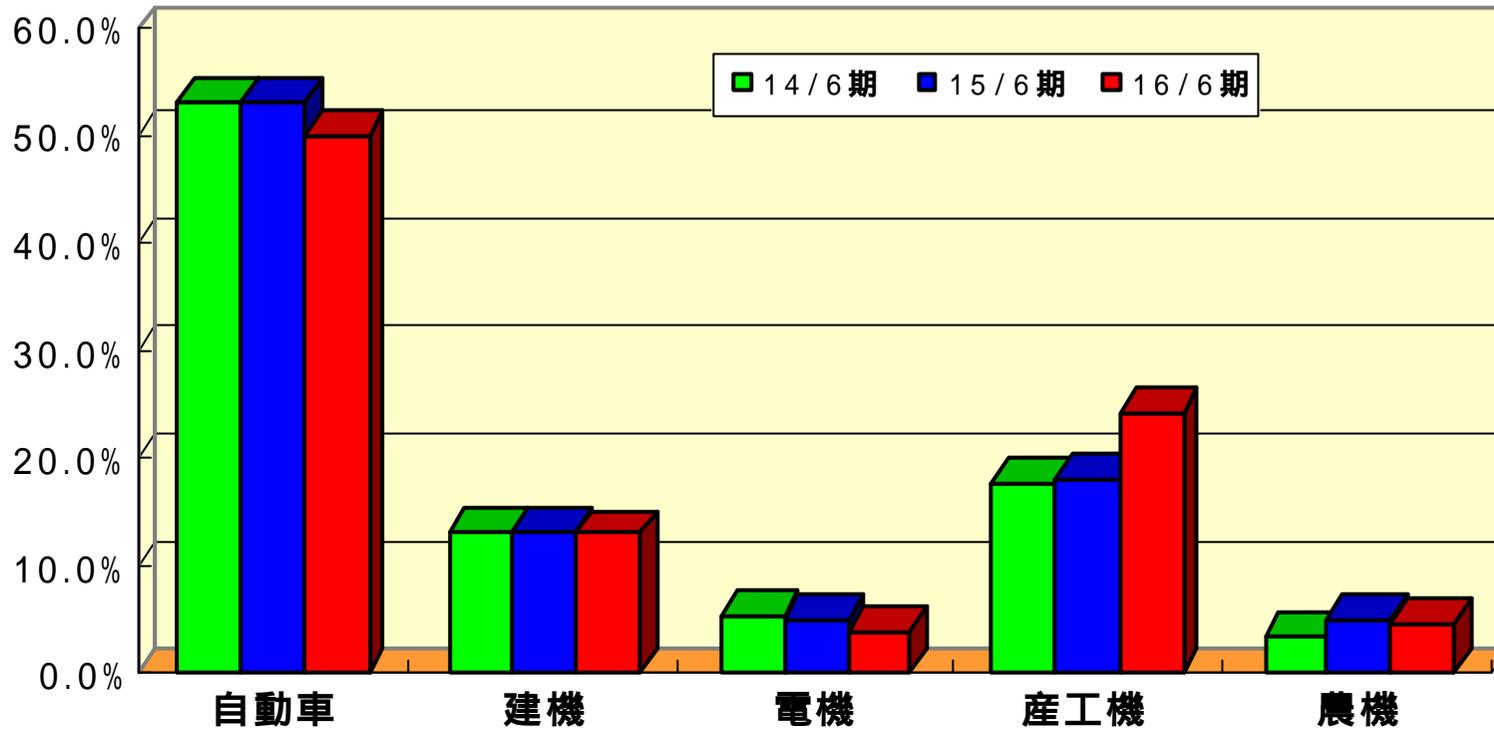


売上高 / 営業利益率推移





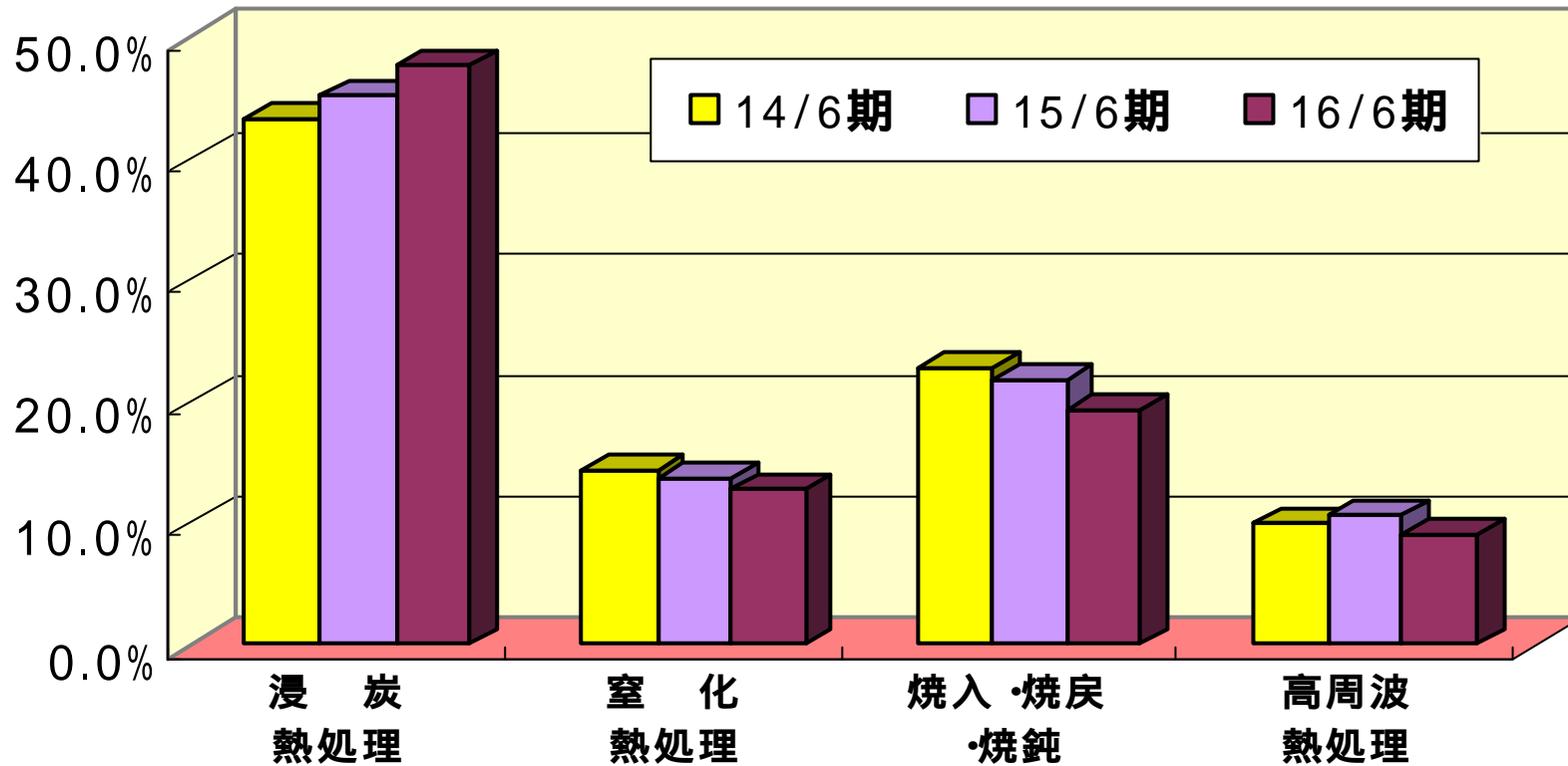
熱処理業種別売上シェア



	自動車	建機	電機	産工機	農機
14/6期	53.3%	13.1%	5.1%	17.6%	3.5%
15/6期	53.1%	13.1%	4.8%	18.1%	4.9%
16/6期	50.0%	12.8%	3.8%	24.2%	4.6%



熱処理加工種別売上シェア



	浸炭熱処理	窒化熱処理	焼入・焼戻・焼鈍	高周波熱処理
14/6期	43.3%	14.3%	22.8%	10.0%
15/6期	45.2%	13.7%	21.8%	10.6%
16/6期	47.7%	12.9%	19.4%	9.1%



17年6月期 連結業績予想

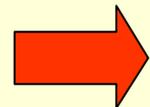
(百万円)

	H16/6	構成比	H17/6	構成比	差異	増減率
売上高	5,287	100.0%	5,500	100.0%	213	4.0%
営業利益	550	10.4%	682	12.4%	132	24.0%
経常利益	536	10.1%	640	11.6%	104	19.4%
税金等調整前 当期利益	431	8.2%	500	9.1%	69	16.0%
当期利益	272	5.1%	290	5.3%	18	6.6%

17年6月期業績予想ポイント

1.売上高

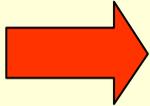
米国、中国の景気動向など先行き不透明感はあるが、
当面は現在の受注環境が続くと予想

 前期比 **+4%** の増収

2.収益性の改善

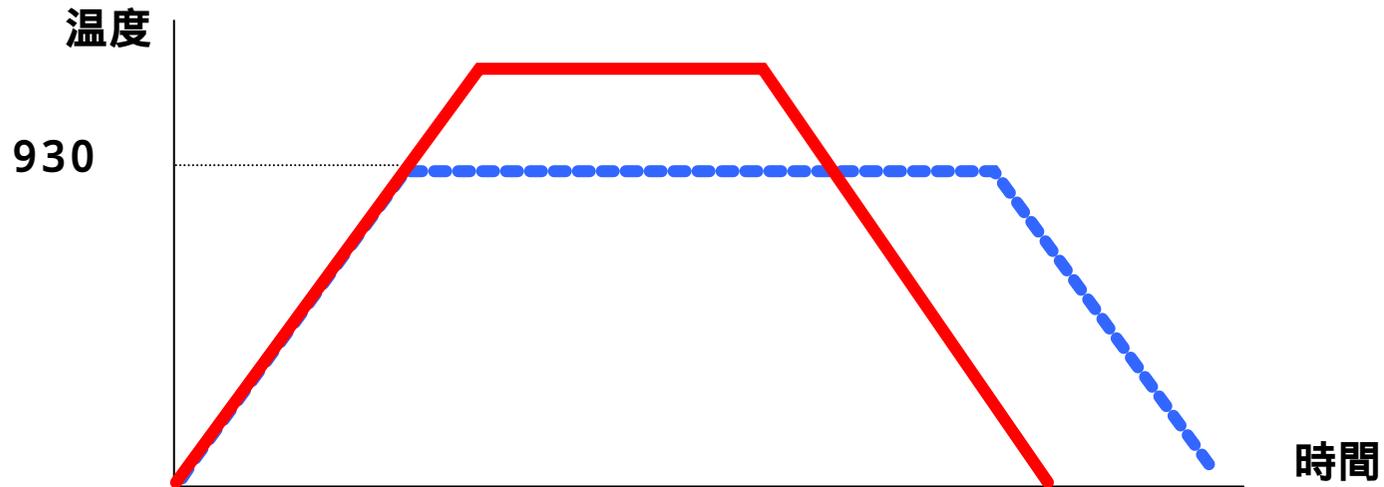
熱処理時間の短縮化などによる生産性向上、
原価低減、経費削減を推進

【営業利益率】

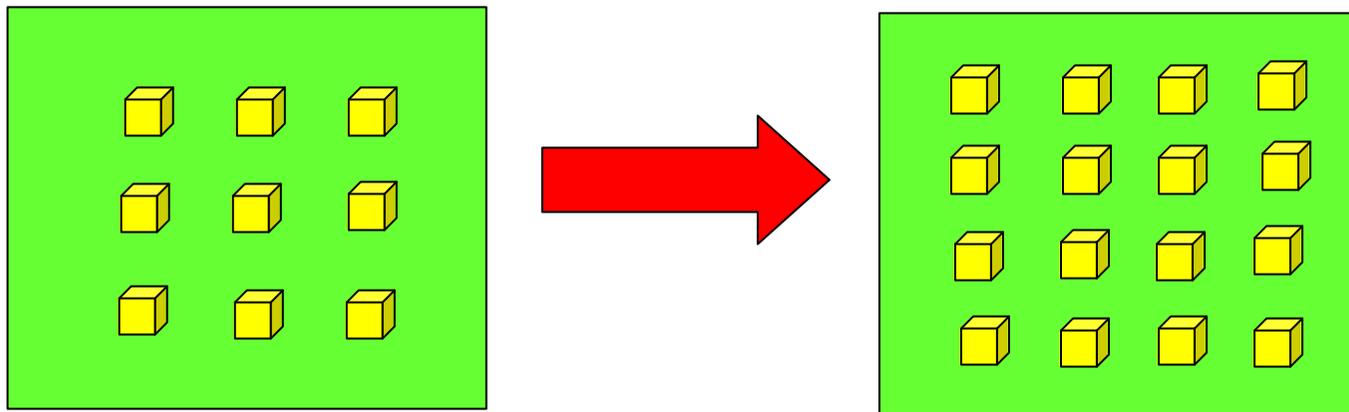
(16/6期) 10.4%  17/6期 12.4% +2.0%

生産性向上のポイント

1. 熱処理の温度と時間



2. 熱処理加工品の混載



熱処理業界の展望

1. 部品メーカーの海外移転

移転の動きは続くが生産拠点の国内回帰の動きも見られ、
国内 高付加価値品、海外 汎用品
という棲み分けが進むものと予想

2. 熱処理ニーズの中長期的動向

電気自動車の開発や一部の部品のセラミック製品などへの移行により 熱処理加工需要が減少することが予想されるが、一方で電子機器部品や超伝導などの新しい分野での熱処理ニーズの拡大が期待

3. 競争の激化

メーカーの高品質、短納期及び低価格の要求は継続

オーネックスの対応

1. **自動車部品メーカー等の海外移転**
業務の棲み分けが進むことが予想されるが、中国などの技術力のキャッチアップによる情勢の変化に機動的に対応できるよう、メーカーや中国などの情報収集 調査を継続
2. **競争力の強化**
 - ・『熱処理専門 技術力・24時間操業』という当社の強みを一層強化し『高品質 短納期 低コスト』の体質を確立、競争力の絶対優位を実現
 - ・NBM (熱処理のアウトソーシング)による差別化
3. **環境事業の育成**
将来の事業の柱の1つとすべく環境事業を育成

環境事業販売実績

			(千円)
	15年6月期	16年6月期	増減
売上高	9,277	15,449	6,172 (+66.5%)
使用対象	下水管洗浄廃水 港湾工事濁水 公園の池水 ゴルフ場の池水	工場廃水(太陽電池ウェハ一切削・洗浄廃水) ゴルフ場の池水	

1. 売上は凝集剤アクアギア-の販売
2. 水性塗料固化剤『コカ・ギア』の試験販売を開始

環境事業の方針

1. 分野の絞込み

『水質浄化』 『吐壤改良』 『空気浄化』の3分野で
製品開発を目指したが、

『水質浄化』  『凝集剤“アクア・ギア”』

に当面的を絞り事業化の判定を行なう

2. アクアギアの用途開発

太陽電池ウェハーの切削・洗浄廃水の浄化用に
安定的な販売が見込まれるが、更に売上増大を
目指しアクアギアの用途開発を行なう



ご清聴いただきありがとうございました。

**夢に向かってチャレンジを続けるオーネックスを
引続きよろしくお願い致します。**

株式会社 オーネックス



Listed Company **5987**